

お知らせ

医療・看護フェアを開催します

ナイチンゲールの生誕にちなみ、2日間にわたり医療・看護フェアを実施します。さまざまなコーナーを用意してお待ちしています。

日時：5月12日(木) 午前10時から午後4時、5月13日(金) 午前10時から午後3時30分

ミニ講座

「認知症予防で元気ハツラツ生活」

講師：認知症看護認定看護師、作業療法士
時間：両日とも午後2時～3時

「救急蘇生法とAED使用」

講師：箕面市消防本部、看護師
時間：両日とも午後3時まで



医療相談

「医師による医療相談」

講師：市立病院、箕面市医師会、箕面市歯科医師会より
時間：両日とも午後2時30分まで

内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ」を導入しました

より高度で、かつ患者さまの体の負担の少ない前立腺がん手術に対応するため、内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ」を北大阪エリアの自治体病院として初めて導入しました。

導入以降、2月末現在までに50人の患者さまが手術を受け、早期の社会復帰を実感いただいています。より多くの患者さまの希望におこたえするため、手術日を増やして手術を行っています。

ココがすごい！

- 3Dカメラで患部をリアルに再現
- 3本のアームと先端の鉗子が自分の腕や手指のように動く
- 手ぶれを制御するなど繊細な手技を実現
- 患者さまの体内に入り込んで手術をしているような感覚

箕面市立病院がめざす
体に負担の少ない手術へ。

da Vinci
内視鏡手術支援ロボット[ダビンチ]

人の眼では見えない部分まで「見える」。
人の手ではできない精密動作が「できる」。



市民医療講座のお知らせ

テーマ	日時	場所
前立腺がん手術の最前線 講師：泌尿器科部長 高田剛 医師	6月4日(土)	箕面市立病院 いろはホール (リハビリ棟4階)
白内障について 講師：眼科部長 齋藤禎子 医師	6月25日(土)	箕面文化・交流センター 大会議室(8階)

※ タイトル、内容、開催場所については変更になる場合がありますのでご了承ください。随時市立病院ホームページ、箕面市広報誌「もみじだより」等でお知らせいたします。



こちらも、ご覧ください！リアルタイムな情報が満載!!

・箕面市立病院スマホ版HP



・看護局スマホ版HP



箕面市立病院だより
2016.3 Vol.30

http://www.minoh-hp.jp

編集発行：箕面市立病院 患者サービス・広報委員会 ☎072-728-2001 (内線2719)



〈特集〉「患者さまの退院支援に取り組んでいます」

診療科ピックアップ 外科

がん手術と緊急手術に全力投球！

● トップレベルの手術件数

外科の仕事は「手術」の一言に尽きます。市立病院の外科では、患者さまの体に負担の少ない腹腔鏡手術を進めるなど、すべての手術で安全と質にこだわり、患者さまの回復に向けて最善を尽くしています。

箕面市外からの患者さまも年々増え、手術件数は例年約1,000件と、近隣の国公立病院でトップレベルです。



体に小さな穴をあけて行う腹腔鏡手術の様子

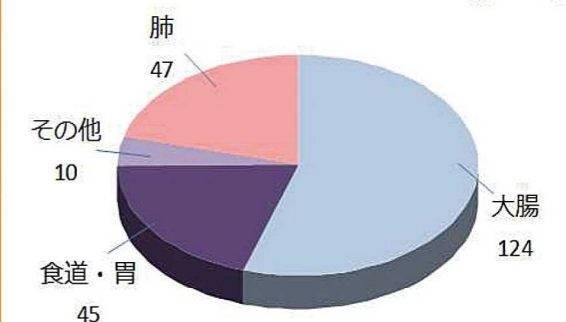
● がん手術もお任せください！

また、市立病院は、大阪府がん診療拠点病院に指定されており、高い技量をもつ専門医が高度ながん手術を行っています。

手術実績の一つの目安となる術後生存率においても、良好な成績を保っています。

平成26年度がん手術の実績(外科)

計：226件



市立病院の外科では、大腸がんをはじめ、食道・胃がん、肺がんなど、いろいろな部位のがん手術をやっているね。

● 豊富な緊急手術実績

胆石や腸閉塞などの緊急手術が必要となる急病に対し、専門医が24時間対応できる体制を整えています。

年間300件近い緊急手術を実施し、いち早い回復につなげています。



外科は、年間200件以上ものがん手術の実績があり、経験豊富なお医者さんが多いんだね！



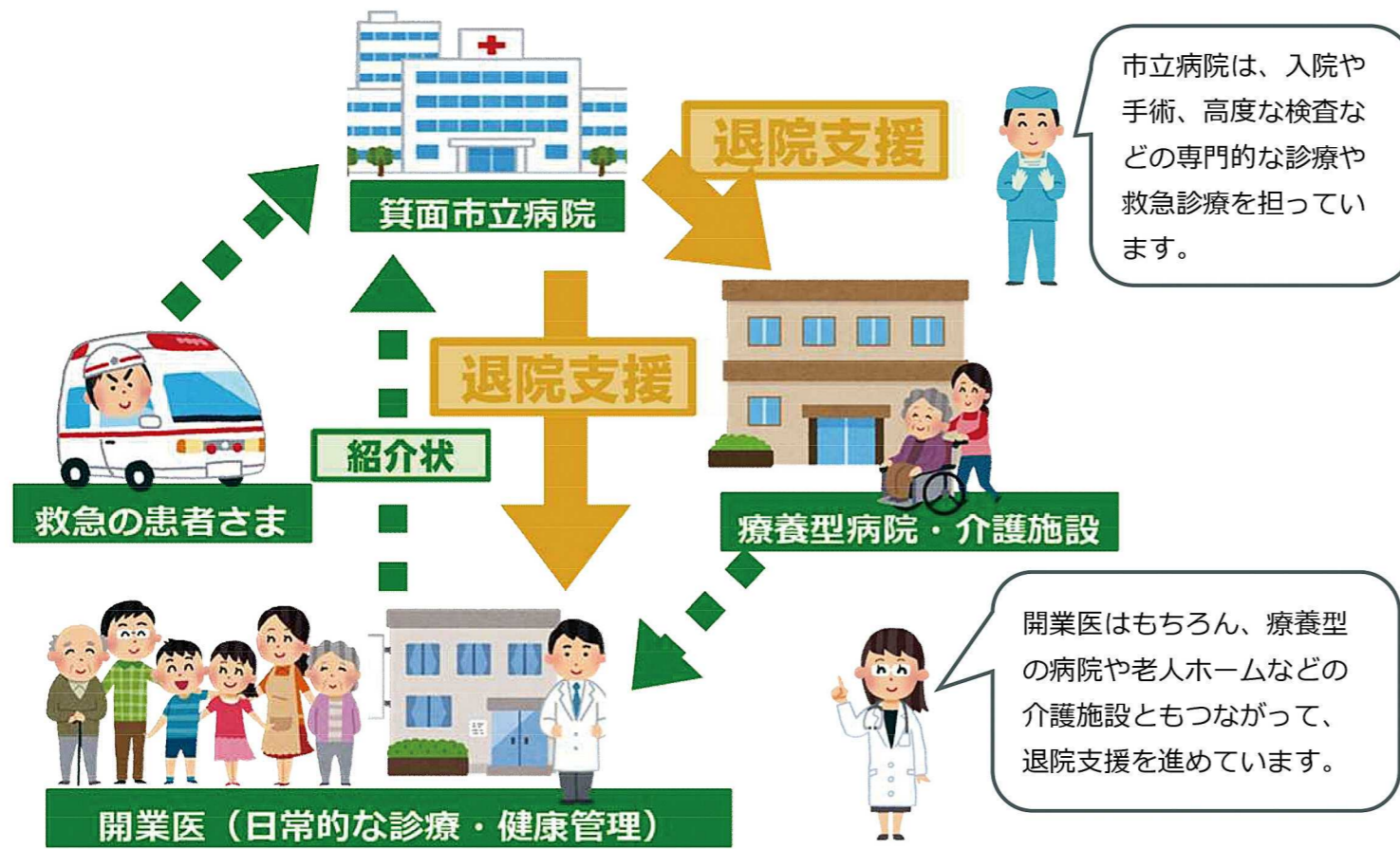


患者さまの退院支援に取り組んでいます。

箕面市では、地域の医療機関と市立病院が一体となって、患者さまが病状に応じた治療を安心して受けていただく体制づくりがすすんでおり、この中で箕面市立病院は入院・手術や救急診療を担っています。

箕面市立病院では、治療・回復に全力を挙げるのはもちろんのこと、患者さまがスムーズに普段の生活に戻れるよう、退院後の生活や地域での継続的な治療、健康管理を見据えた「退院支援」に力をいれています。

市立病院と地域医療機関がつながって退院支援を行っています。



市立病院の役割

- 急性期の治療が必要な患者さまを一人でも多く受け入れます。
急病で重篤な患者さまや、開業医（かかりつけ医）が専門的な診療や精密検査が必要と判断した患者さま（紹介状をお持ちになられた患者さま）を中心に診察します。
- 手術や入院治療などで病状の早期安定を図ります。
体に負担の少ない内視鏡手術、早期のリハビリ開始、チーム医療による栄養サポートなど、回復を早める医療に取り組んでいます。
- 日常診療は開業医（かかりつけ医）にバトンタッチ。
病状が落ち着いた患者さまの治療を、かかりつけ医や療養型病院などに引き継ぎます。



いち早く普段の生活に戻るため、患者さま・ご家族さまを支援

1.入院時から、退院後を見据えた活動を開始

退院後の望ましい療養生活について、生活環境も含めて入院直後から検討します。医師や看護師、ソーシャルワーカーなど多職種で計画を作成し、チームで退院支援を進めていきます。患者さまが1日でも早く元の生活に戻ることができるよう、いち早く活動を開始します。

①スクリーニング

入院時に、退院後の支援が必要な患者さまを把握します。

高齢者の一人暮らしで、近くに家族もない... 退院後の療養生活が難しそうだ...

②退院支援計画作成

退院後の療養生活について、患者さま一人ひとりに応じた計画を立てます。

回復したけど、自宅での療養は厳しそうだ。福祉サービスの活用が必要だ...

③サポートの実行

生活の場に戻るために必要なサポートをチームで行っていきます。

サポート1 専門家が支援策を検討

各分野の専門的知識をもったスタッフが、患者さま・ご家族さまと退院後に必要な福祉サービスやサポート体制などを話し合います。

《主な参加職種》
担当医師、かかりつけ医、看護師、訪問看護師、薬剤師、調剤薬局、リハビリ担当、訪問リハビリ、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー など

サポート2 介護施設などとの調整

患者さま・ご家族さまの希望する療養生活が送られるよう、地域の医療機関や介護施設と連携して、退院後の受け入れ等について調整をします。

2.退院後の治療も安心！

市立病院を退院した後も、自宅や介護施設などの福祉施設、療養病院などに居ながら、地域の医療機関のつながりのなかで、切れ目のない医療を継続して受けることができます。

日常的な診療や健康相談を開業医などで行い、ちょっとした身体の異変を見逃さないようにしてください。専門的な診療が必要になった場合、市立病院が万全の態勢で受け入れます。

